



# 食品ロス削減に取り組もう②

■問合せ…生活環境課 (☎025-526-5111、内線1020-4118)

食品ロスは、家庭や飲食店だけでなく、食品の製造・販売過程においても発生しており、推計で食品ロス全体の53%を占めていると言われています。スーパーやコンビニでのお買い物の際に、食品ロスを減らすための店舗の取り組みを見かけたら、積極的に協力し、さらなる食品ロスを削減しましょう。

## 日々のお買い物で食品ロス削減の取り組みを

### ●てまえどり

商品棚の手前に賞味(消費)期限が近いものを並べ、手前から取ってもらう取り組みです。パンや牛乳などすぐに食べるものは、積極的に期限が近いものを選びましょう。



### ●カット野菜の購入

捨てる部分の少ないカット野菜も、食品ロス削減に有効です。「食べきれる分だけ買う」ことを意識しましょう。



県のキャンペーンPOPです。店舗で見かけたら積極的に協力し、食品ロスを削減しましょう。

### ●フードレスキュー

賞味(消費)期限が迫っている食材や、商品入れ替えとなった品をお得な価格で販売しています。積極的に値引きシールが貼ってあるものなどを選びましょう。



## 最終処分場基本構想のあらまし③

### — 整備計画 —

今後の調査・設計や、地元などの意向も踏まえて、具体的な計画を策定します。

- (1) 整備目標年次……………令和13年度(2031年度)に2地区のうち1地区の供用を開始
- (2) 整備予定地の施設の規模…竹鼻地区：敷地面積 約28ha/埋立面積 約6.7ha/埋立容量 約140万㎡  
下中山地区：敷地面積 約24ha/埋立面積 約7.2ha/埋立容量 約140万㎡

※埋立地の整備順序は、今後の調査・設計により決定します。

全国の優れた取り組みも参考に、安全・安心な施設整備と運営を目指します。



竹鼻地区施設配置イメージ



下中山地区施設配置イメージ

※記載の内容はすべて基本構想策定時点のものであり、今後変更が生じる場合があります。

整備に関する問合せ…新潟県環境局資源循環推進課(☎025-280-5161)、上越分室(☎025-520-7859)  
(公財)新潟県環境保全事業団 上越オフィス(☎025-520-7853)

記事に関する問合せ…生活環境課(☎025-520-2088)



新潟県ホームページ